

令和5年度（2023年度）

<p>試験区分</p>	<p>学校推薦型選抜・特別選抜</p>
<p>学部学科</p>	<p>国際政策学部 共通</p>
<p>教科科目等</p>	<p>小論文</p>
<p>出題の意図</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大への対策として社会に浸透してきた、デジタル技術等を活用した働き方の変化、働き方が多様になったことに伴う居住地の選択の変化に関して、知識理解と地域社会への影響や対策を問う設問である。</p> <p>まず、コロナ禍からの労働形態や居住形態の変化への理解を問うために、都市圏と地方圏の双方に仕事と生活の拠点をもつ二地域居住の意義と効果を示したうえで、地域や住民に生じえる課題について問う。</p> <p>次に、地方部の活性化のために、例えば、地方部の地域社会が抱える人口減少、経済衰退、空き家等の問題に対して、二地域居住がもたらす正と負の影響や、解決策につながる取り組みの可能性について、自身に考えを述べさせることで、論理性と躍動性を問いたい。</p>